

- ◇新型コロナウイルスによる長らくのマスク生活を経て、3月半ばより、マスクの着用は個人の判断が基本となりました。3年間の習慣とは恐ろしいもので、マスクなしの会話について躊躇してしまう今日この頃です。今年こそは多くの学会集会在オンサイトで開催され、論議に花が咲くことを願って止みません。
- ◇今春は、全国的に花粉の飛散量が多いことが報告されています。花粉の分析には、スライドガラスを花粉捕集器に設置し、捕集した花粉を一定時間ごとに顕微鏡で観察する「ダラム法」という古典的な手法が広く用いられています。一方、近年では、捕集した花粉にレーザーを照射し、粒子の形状や大きさを分析する機器も活用されているそうです。分析技術の進歩が、私たちの日々の生活に影響を及ぼしていることを実感します。
- ◇令和5年度を迎えました。日頃より「ぶんせき」誌にご寄稿をいただいている先生方に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今年度も皆様の変わらぬご愛読・ご協力をいただけますよう、よろしく願いいたします。

[Y. Y.]

〈とびら〉

5年一貫教育による高度専門人材の育成

—16歳からの分析化学— ……………上條 利夫

〈入門講座〉 分離技術：原理から最新技術まで

液体クロマトグラフィー (2) ……………渋川 雅美

〈展 望〉

薬学部の分析化学教育における法中毒学の必要性和

今後の展開……………永澤 明佳

〈ミニファイル〉 マイクロ・ナノの分析化学

ナノ粒子の抽出化学……………高貝 慶隆, 中川 太一

〈話 題〉

引っかき刺激を検出して光る材料

—「役割分担」による新たな設計指針— ……………吉田 将己

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 四宮 一 総 (日 大 薬)		
〈副委員長〉 東海林 敦 (東京薬科大薬)		
〈理 事〉 津越 敬 寿 (産業技術総合研究所)		
〈幹 事〉 市場 有 子 (ライオン(株))	稲川 有 徳 (宇都宮大院地域創生科学)	坂 牧 寛 (化学物質評価研究機構)
	村居 景 太 (株共立理化学研究所)	
〈委 員〉 岩井 貴 弘 (株日立製作所)	糟野 潤 (龍谷大先端理工)	久保田 哲央 (アジレント・テクノロジーズ)
	古賀 舞 都 (農 研 機 構)	島田 健 吾 (石福金属興業(株))
	末吉 健 志 (大阪公立大院工)	高橋 あか ね (オルガノ(株))
	永谷 広 久 (金沢大院自然科学)	野間 誠 司 (佐賀大農)
	原賀 智 子 (日本原子力研究開発機構)	福島 健 (東邦大薬)
	三浦 篤 志 (北大院理)	宮下 振 一 (産業技術総合研究所)
	盛田 伸 一 (東北大院理)	森山 孝 男 (株リガク)
		橋本 剛 (上智大理工)
		谷合 哲行 (千葉工業大先進工)
		橋本 剛 (上智大理工)
		松神 秀 徳 (国立環境研究所)
		森 勝 伸 (高知大理工)
		山崎 由 貴 (国立医薬品食品衛生研)

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会(学著協)に複写に關する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX: 03-3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾(著作物の転載願ひ等)は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2023年 第4号 (通巻580)

2023年4月1日印刷

2023年4月5日発行

定価1,000円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計: 03-3490-3351

編集: 03-3490-3537

FAX: 03-3490-3572 振替口座: 00110-8-180512

© 2023, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。